

Microsoft Windows XP/Vista/7
/Server2003/Server2008 対応
CB-418-T3
プリンタドライバ概略説明書

第 12 版 2010 年 6 月

東芝テック株式会社

目 次

はじめに	2
1. 概要	2
1. 1 特長	
1. 2 対象プリンタ	
1. 3 動作条件	
2. インストール	4
2. 1 インストール方法	
2. 2 削除方法	
3. システム構成	8
4. プリンタドライバの機能	11
4. 1 印刷する前のプリンタの設定	
4. 2 プリンタのプロパティ設定項目	
4. 3 ドキュメントのプロパティ設定項目	
5. 使用上の注意	17
5. 1 用紙について	
5. 2 カット間隔について	
5. 3 制限のあるアプリケーションソフトについて	

はじめに

本説明書は東芝テック製カラーバーコードプリンタ用 WindowsXP/Vista/7/Server2003/Server2008 対応プリンタドライバ V2.00 の仕様について、その概要を記載したものです。プリンタドライバをご使用になる前、ご使用いただいで不明な点がある場合に、本書 または、セットアップフォルダ内の Readme.rtf や、ヘルプをご覧ください。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2003、Windows Server 2008 は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における商標です。

その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

注意

- ・ 本書では操作手順の表記をできるだけ簡単にするために、部分的に“→”を使用しています。
例えば、『[スタート]メニューの[設定]から[プリンタ]を選択する』という操作説明を『[スタート]→[設定]→[プリンタ]を選択する』と表現します。

1. 概 要

1.1 特長

本プリンタドライバはカラーバーコードプリンタに対応する WindowsXP/Vista/7/Server2003/Server2008 環境下用のプリンタドライバです。

- ・ Windows アプリケーションからのカラー印刷が簡単に行えます。
- ・ カラーバーコードプリンタ固有の命令(制御コマンド)を知ることなく、レーザーやインクジェットプリンタなどのOA用カラープリンタと同じように使用できます。
- ・ カラーバーコードプリンタ特有の、ラベルサイズ、透過／反射センサー、カット印刷などの設定を簡単に行うことができます。
- ・ カラーバーコードプリンタとの接続はパラレルポート(セントロニクス)で接続します。プリンタサーバー機器にカラーバーコードプリンタを接続することにより、カラーバーコードプリンタをネットワーク上の共有プリンタとしてご使用いただけます。
- ・ カラーバーコードプリンタに内蔵しているプリンタフォント、バーコード、2次元コード及びラインは使用できません。
- ・ バーコードジェネレートソフト(Windows 用)は、付属していません。

1.2 対象プリンタ

東芝テック製カラーバーコードプリンタ

- CB-418-T3 (4インチ幅カラープリンタ, 305dpi)
- CB-418-T3 FINE MODE (4インチ幅カラープリンタ, 305dpi×610dpi)

FINE MODE は、CB-418-T3 プリンタのファームウェアバージョンが V2.0 以降であること

1.3 動作条件

本プリンタドライバは以下のシステムおよび環境でご利用になれます。

- ・ソフトウェア 日本語Windows XP
日本語Windows Vista
日本語Windows 7
日本語Windows Server 2003
日本語Windows Server 2008

但し、64bit版のOSは対象外となります。

- ・ハードウェア 上記のWindowsが動作するPC (IBM ATコンパチブル)。
バーコードプリンタをPCに接続する場合、セントロニクスI/Fが必要です。

推奨条件

- プロセッサ: 1 GHz以上
- システムメモリ: 512 Mバイト以上
- ハードディスク: 1 Gバイト以上

注意

- ・上記以外のOSを使用しているクライアントマシンから印刷する場合、本プリンタドライバは使用されません。
- ・弊社のカラープリントシステムⅢを使用される場合、プリンタのプロパティの[詳細設定] タブの[詳細な印刷機能を有効にする]のチェックを外してください。外さない場合、部数が指定通りに発行されないことがあります。

2. インストール

2.1 インストール方法

インストール方法は、ローカルプリントにて印刷する場合と、リモートプリントにて印刷する場合で異なります。

①WindowsXP/Server2003

■ローカルプリントにて印刷する場合

- (1) Windowsを起動し、プリンタの設定に関するフルコントロールアクセス権を有するメンバーとしてログオンします。
- (2) [スタート]→[設定]→[プリンタ]を選択し、[プリンタ]フォルダを表示します。
- (3) [プリンタの追加]アイコンをダブルクリックしてプリンタの追加ウィザードを起動します。プリンタの追加ウィザードの開始が表示されたら、[次へ]をクリックします。
- (4) “このコンピュータに接続されているローカルプリンタ(L)”を選択し、[次へ]をクリックします。
- (5) プリンタで使用するポートを選択し、[次へ]をクリックします。
- (6) 製造元とプリンタの一覧が表示されたら、[ディスク使用(H)...]をクリックします。
- (7) T3Drv200A.exeを実行した時のセットアップフォルダを指定して[開く]ボタンをクリックします。
- (8) インストール可能なプリンタの一覧が表示されます。
TEC CB-418-T3
TEC CB-418-T3 (FINE MODE)
- (9) インストールする機種を選択し、[次へ]をクリックします。
- (10) “新しいドライバに置き換える(R)”を選択し、[次へ]をクリックします。(初めてインストールする場合にはこの操作は省略されます。)
- (11) 通常使うプリンタとして使用するかどうかを選択し、[次へ]をクリックします。
- (12) ネットワーク上のほかのユーザーとプリンタを共有するかどうかを選択し、[次へ]をクリックします。
- (13) テストページの印刷をするかどうかを選択し、[次へ]をクリックします。
- (14) プリンタの追加ウィザードの完了が表示されたら、[完了]をクリックします。
- (15) “ハードウェアのインストール”というタイトルの警告画面が表示されたら、[はい]をクリックし続行します。
- (16) インストールが終了すると、プリンタドライバ関連のファイルがコピーされ、[プリンタ]フォルダに新しくアイコンが追加されます。

■リモートプリントにて印刷する場合1

- (1) ローカルプリントにて印刷する場合のインストール方法(1)～(3)を行います。
- (2) “ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ(E)”を選択し、[次へ]をクリックします。
- (3) “指定したプリンタに接続する”を選択し、共有設定したプリンタのネットワークパス(例:¥¥*****¥TECC B-418)を入力し、[次へ]をクリックします。
- (4) 通常使うプリンタとして使用するかどうかを選択し、[次へ]をクリックします。

- (5) テストページの印刷をするかしないかを選択し、[次へ]をクリックします。
- (6) インストールが終了すると、プリンタドライバ関連のファイルがコピーされ、[プリンタ]フォルダに新しくアイコンが追加されます。

■リモートプリントにて印刷する場合2

- (1) ローカルプリントにて印刷する場合のインストール方法(1)～(17)を行います。
- (2) 新しく追加されたプリンタアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックしてプロパティを開きます。
- (3)[ポート]を選択し、[ポートの追加(T)]をクリックします。
- (4) “Local Port”を選択し、[新しいポート(P)]をクリックします。
- (5) 共有設定したプリンタのネットワークパス(例:¥¥*****¥TECCB-418)を入力し、[OK]をクリックします。
- (6) ポートの設定が終了したら、[OK]をクリックしてプロパティを閉じます。

②Windows Vista/7/Server2008

■ローカルプリントにて印刷する場合

- (1) Windowsを起動し、プリンタの設定に関するフルコントロールアクセス権を有するメンバーとしてログオンします。
- (2)[スタート]－[コントロールパネル]－[ハードウェアとサウンド]－[プリンタ]を選択し、[プリンタ]フォルダを表示します。
- (3)[プリンタのインストール]をクリックし、プリンタの追加を開始します。
- (4) “ローカルプリンタを追加します(L)”を選択します。
- (5) プリンタで使用するポートを選択し、[次へ]をクリックします。
- (6) 製造元とプリンタの一覧が表示されたら、[ディスク使用(H)...]をクリックします。
- (7) T3Drv200A.exeを実行した時のセットアップフォルダを指定して[開く]ボタンをクリックします。
- (8) インストール可能なプリンタの一覧が表示されます。
TEC CB-418-T3
TEC CB-418-T3 (FINE MODE)
- (9) インストールする機種を選択し、[次へ]をクリックします。
- (10) “新しいドライバに置き換える(R)”を選択し、[次へ]をクリックします。(初めてインストールする場合にはこの操作は省略されます。)
- (11) 通常使うプリンタとして使用するかしないかを選択し、[次へ]をクリックします。
- (12) インストールが開始します。
- (13) インストールが終了すると、プリンタの追加の完了画面が表示されます。このとき、[プリンタ]フォルダに新しくアイコンが追加されます。
- (14) テストページの印刷をする場合、[テストページの印刷(P)]をクリックしてください。[完了(F)]をクリックして終了します。

■リモートプリントにて印刷する場合1

- (1) ローカルプリントにて印刷する場合のインストール方法(1)～(3)を行います。
- (2) “ネットワーク、ワイヤレスまたはBluetoothプリンタを追加します(W)”を選択します。
- (3) [探しているプリンタはこの一覧にはありません(R)]をクリックします。
- (4) “共有プリンタを名前を選択する(S)”を選択し、共有設定したプリンタのネットワークパス(例:¥¥*****¥TECCB-418)を入力し、[OK]をクリックします。
- (5) インストールが開始します。
- (6) 通常使うプリンタとして使用するかしないかを選択し、[次へ]をクリックします。
- (7) インストールが終了すると、プリンタの追加の完了画面が表示されます。このとき、[プリンタ]フォルダに新しくアイコンが追加されます。
- (8) テストページの印刷をする場合、[テストページの印刷(P)]をクリックしてください。[完了(F)]をクリックして終了します。

■リモートプリントにて印刷する場合2

- (1) ローカルプリントにて印刷する場合のインストール方法(1)～(14)を行います。
- (2) 新しく追加されたプリンタアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックしてプロパティを開きます。
- (3) [ポート]を選択し、[ポートの追加(T)]をクリックします。
- (4) “Local Port”を選択し、[新しいポート(P)]をクリックします。
- (5) 共有設定したプリンタのネットワークパス(例:¥¥*****¥TECCB-418)を入力し、[OK]をクリックします。
- (6) ポートの設定が終了したら、[OK]をクリックしてプロパティを閉じます。

注意

- ・プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタの設定に関するフルコントロールアクセス権が必要です。
- ・リモートプリントにて印刷する場合1の方法は、同じバージョンが使用できるOS間でのみ有効です。対応OS以外でリモートプリントする場合、リモートプリントにて印刷する場合2を使用してください。
- ・Windows Vista/7/Server2008をクライアントにして、弊社のカラープリントシステムⅢからリモートプリントで印刷する場合、“リモートプリントにて印刷する場合2”でインストールしてください。“リモートプリントにて印刷する場合1”でインストールした場合、部数が指定通りに発行されないことがあります。

2.2 削除方法

■プリンタドライバ削除方法

- (1) [スタート]→[設定]→[プリンタ]を選択し、[プリンタ]フォルダを表示します。
- (2) 削除するプリンタ名のアイコンを選択して、右クリックします。
- (3) [削除]→[はい]でプリンタドライバを削除します。
- (4) プリンタドライバの削除が終了すると、[プリンタ]フォルダからアイコンが削除されます。

注意

プリンタドライバを削除すると登録した用紙も削除されます。再度プリンタドライバをインストールした後、登録し直す必要があります。削除する前に必要な情報は記録してください。

3. システム構成

本プリンタドライバは、以下のようなシステム構成でご利用いただけます。

項目説明

PC:	DOS/V機 (IBM PC-AT互換機)
WinNT:	Windows NT4.0/2000/XP/Vista/7/Server2003/Server2008
Win95:	Windows 95/98
プリンタ:	東芝テック製カラーバーコードプリンタCB-418-T3
セントロ:	セントロニクスケーブル
プリンタ・サーバー:	EtherNet用プリンタ・サーバー機器
プリンタドライバ:	WindowsNT対応 CB-418-T3 プリンタドライバV1.05以降 Windows95対応 CB-418-T3 プリンタドライバV1.00以降

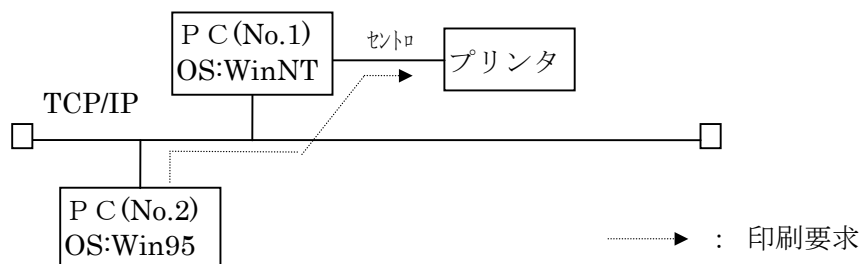
【例1】



設定:

- ①PC (No.1) に Win NT 対応プリンタドライバをインストールする。
(印刷するポートは LPT1 (Local Port) に指定する。)

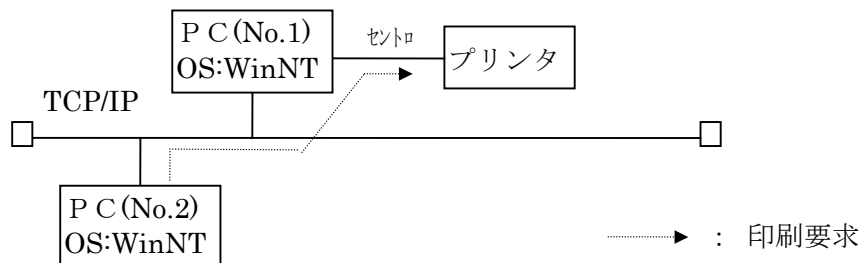
【例2】



設定:

- ①PC (No.1) に Win NT 対応プリンタドライバをインストールする。
(印刷するポートは LPT1 (Local Port) に指定する。)
- ② PC (No.1) のプリンタをプリンタのプロパティにて共有プリンタに指定する。
- ③ PC (No.2) に Win95 対応プリンタドライバを、PC (No.1) に接続されたプリンタのネットワークパスを指定しネットワークプリンタとしてインストールする。

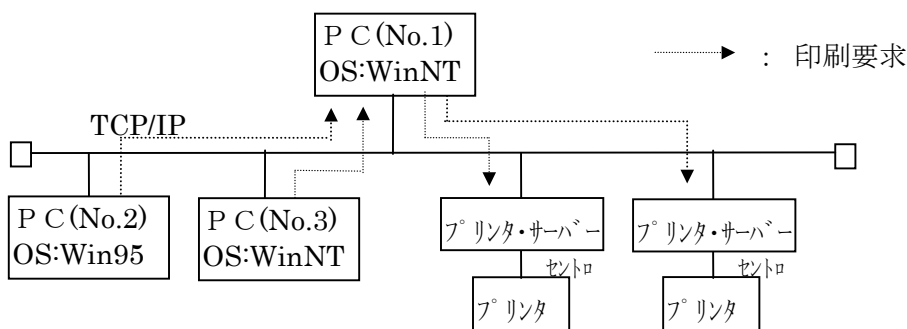
【例3】



設定：

- ① PC (No.1) に Win NT 対応プリンタドライバをインストールする。
(印刷するポートは LPT1 (Local Port) に指定する。)
- ② PC (No.1) のプリンタをプリンタのプロパティにて共有プリンタに指定する。
- ③ PC (No.2) に WinNT 対応プリンタドライバを、PC (No.1) に接続されたプリンタのネットワークパスを指定しネットワークプリンタとしてインストールする。

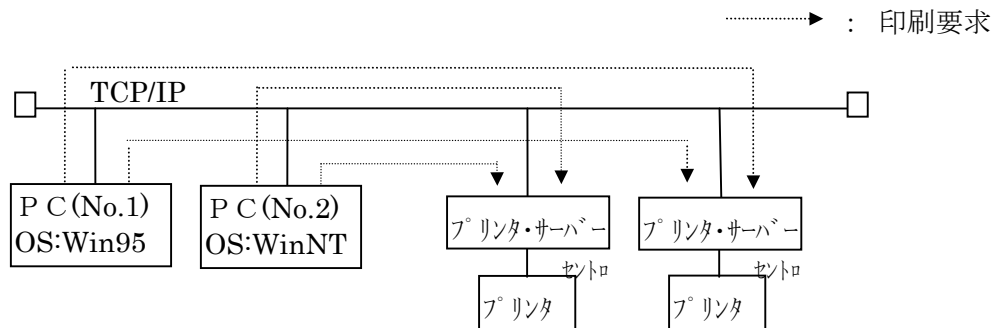
【例4】



設定：

- ① PC (No.1) に Win NT 対応プリンタドライバをプリンタ台数分インストールする。
- ② PC (No.1) にインストールしたプリンタドライバのプロパティにて、プリンタ・サーバーのアドレスを指定した LPR Port を追加する。
(LPR Port の追加は、ネットワークサービス (Microsoft TCP/IP 印刷) をインストール後、プリンタのプロパティの [ポート] タブの [ポートの追加] ボタンにて行なう。)
- ③ PC (No.1) のプリンタをプリンタのプロパティにて共有プリンタに指定する。
- ④ PC (No.2) に Win95 対応プリンタドライバをインストールする。^(注1)
- ⑤ PC (No.2) にインストールしたプリンタドライバのプロパティにて、PC (No.1) のプリンタのネットワークパスを指定したネットワークポートを追加する。
(ネットワークポートの追加は、プリンタのプロパティの [詳細] タブの [ポートの追加] ボタンにて行なう。)
- ⑥ PC (No.2) の印刷先のポートを、⑤で追加したネットワークポートに指定する。
- ⑦ PC (No.3) に Win NT 対応プリンタドライバを、PC (No.1) に接続されたプリンタのネットワークパスを指定しネットワークプリンタとしてインストールする。

【例5】



設定：

- ① PC (No.1) に Win95 対応プリンタドライバをインストールする。(注1)
- ② プリンタ・サーバーのアドレスを指定した LPR Port を追加する。
(LPR Port の追加は、プリンタ・サーバーの設定ユーティリティ等の他のソフトウェアにて行なう。)
- ③ PC (No.1) の印刷先のポートを、②で追加した LPR Port に指定する。
- ④ PC (No.2) に Win NT 対応プリンタドライバをプリンタ台数分インストールする。
- ⑤ PC (No.2) にインストールしたプリンタドライバのプロパティにて、プリンタ・サーバーのアドレスを指定した LPR Port を追加する。
(LPR Port の追加は、ネットワークサービス (Microsoft TCP/IP 印刷) をインストール後、プリンタのプロパティの [ポート] タブの [ポートの追加] ボタンにて行なう。)
- ⑥ PC (No.2) の印刷先のポートを、⑤で追加した LPR Port に指定する。

(注1)

CB-418-T3用Win95/98対応プリンタドライバは、1台のPCに対し、複数のプリンタドライバをインストールできません。印刷に使用するプリンタを変更する場合は、プリンタのプロパティから、印刷先のポートの指定を、使用するプリンタのネットワークポートまたはプリンタが接続されているプリンタ・サーバーのアドレスを指定したLPR Port に切替えることにより変更してください。

(注2)

1台のプリンタに対し、複数のクライアントPCから同時に印刷を行うと、プリンタ側で“コマンドエラー”が発生し、正しく印刷されない場合があります。

1台のプリンタで複数クライアントからの印刷を行う場合、【例4】の構成をお勧めします。

4. プリントドライバの機能

4.1 印刷する前のプリンタの設定

①用紙(用紙サイズ)の登録

本プリントドライバは任意サイズ of 用紙を複数種類登録することができます。

まず、印刷する前の設定として印刷する時に使用する用紙(用紙サイズ)の登録を行います。用紙(用紙サイズ)の登録をしないと印刷することができません。

用紙の登録では、ラベル名や用紙サイズの他に印刷に関する諸条件も設定します。

- (1) [スタート]→[プリンタとFAX] を選択し、[プリンタとFAX]フォルダを表示します。
- (2) 使用するプリンタのアイコンを選択して、右クリックします。
- (3) メニューから[プロパティ]を選択し、[デバイスの設定]タブをクリックすると用紙設定用のシートが表示されます。
- (4) [ラベルのプロパティ/追加/削除]→[ラベルのプロパティ]ダイアログボックスを表示します。
- (5) 必要な設定を行い、[OK]ボタンをクリックして[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを閉じます。

②印刷設定の変更

アプリケーションソフトを起動したときの用紙種類などの初期値は、[プリンタ]の[印刷設定]で設定することができます。

- (1) [スタート]→[プリンタとFAX] を選択し、[プリンタとFAX]フォルダを表示します。
- (2) 使用するプリンタのアイコンを選択して、右クリックします。
- (3) メニューから[印刷設定]を選択し、[プリンタの印刷設定]ダイアログボックスを表示します。
- (4) 必要な設定を行い、[OK]ボタンをクリックして[プリンタの印刷設定]ダイアログボックスを閉じます。

注意

用紙(用紙サイズ)の登録、及び、印刷設定の変更を行うためには、プリンタの設定に関するフルコントロールアクセス権が必要です。

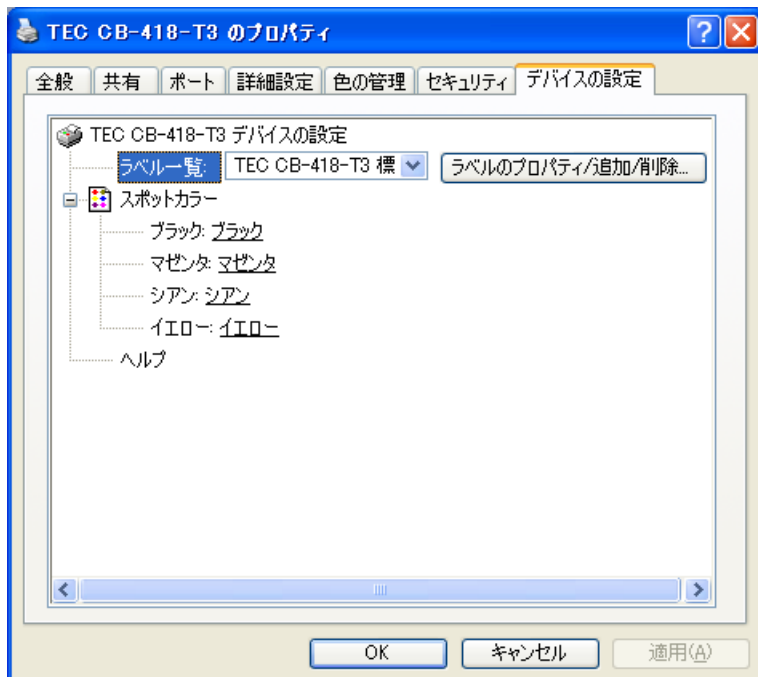
③印刷するドキュメントの設定

通常、印刷するドキュメントの設定は、アプリケーションソフトにて行います。この場合は、プリンタの設定に関する権利を特に必要としません。

- (1) アプリケーションソフトの[ファイル]メニューから、プリンタの設定に関するコマンドを選択します。
- (2) 必要な設定を行い、[OK]ボタンをクリックします。

4.2 プリンタのプロパティ設定項目

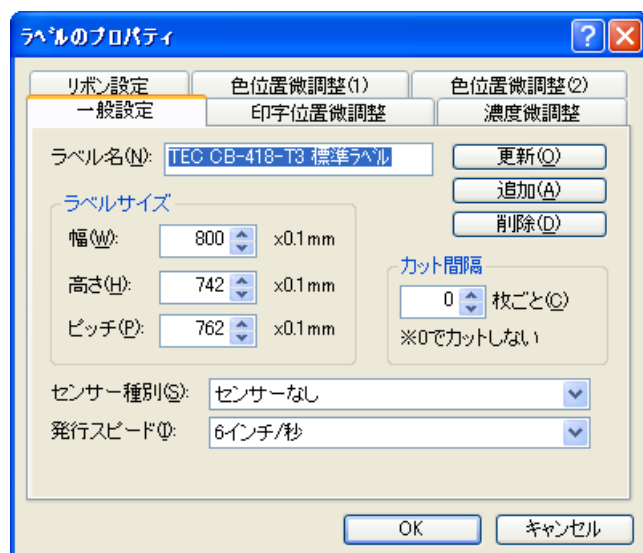
プリンタのプロパティの設定は、プリンタフォルダから本プリンタのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから[プロパティ]を選択して行います。



①[ラベル一覧]－[ラベルのプロパティ/追加/削除]

本プリンタドライバは任意サイズ of 用紙を複数種類登録することができます。

また、用紙毎に、プリンタの印刷に関する諸条件(センサー指定、各種微調値等)を記憶できるように独自の用紙作成機能を持っています。



用紙毎に記憶するプリンタの印刷に関する諸条件

- ・ラベルサイズ(幅、高さ、ピッチ)
- ・センサー種別(センサーなし、反射センサー、透過センサー、透過センサー(プリ印刷ラベル))

- ・発行スピード(6インチ/秒, 4インチ/秒 FINE MODE: 3インチ/秒(標準リボン), 2インチ/秒(プレミアムリボン))
- ・カット発行(カット間隔:0~100)
- ・印字位置微調整(フィード量微調、カット位置微調、バックフィード量微調、停止位置微調)
- ・濃度微調整(各色)
- ・リボン設定(各リボン:リボン種類、リボン幅、リボンモータ電圧手動設定)
- ・色位置微調整(各色:主走査・副走査方向の色ずれ補正)
- ・印字開始位置微調整(各色)(FINE MODEのみ設定可)

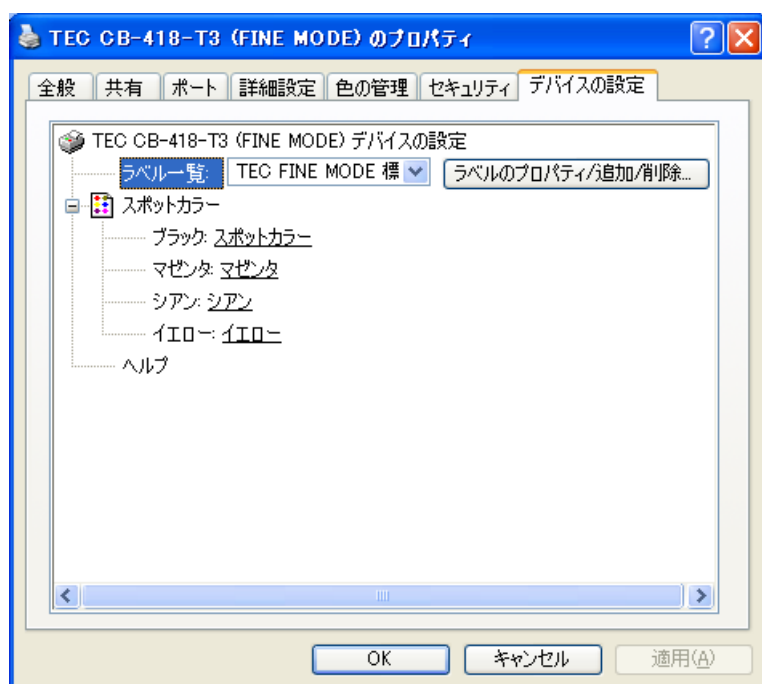
注意

PCによって、ラベルのプロパティの編集後にラベル一覧のコンボボックスの内容が表示されない状態が発生します。コンボボックスの位置にマウスを移動すれば再表示されます。用紙の登録、編集には影響ありません。

②[スポットカラー]

通常はマゼンタ、シアン、イエローを重ね合わせることで、いろいろな色を表現するプロセスカラーで印刷します。しかし、プロセスカラーで印刷できない特殊な色(金、銀)あるいは、本機のプロセスカラーでは忠実に再現できない色を印刷する場合は、スポットカラーの機能を使用することにより印刷することが可能になります。

※ “FINE MODE”でご使用いただく場合、下のように、ブラックを“スポットカラー”の設定に、マゼンタ、シアン、イエローはプロセスカラーに設定してください。グラフィックスがより一層きれいに印刷できます。

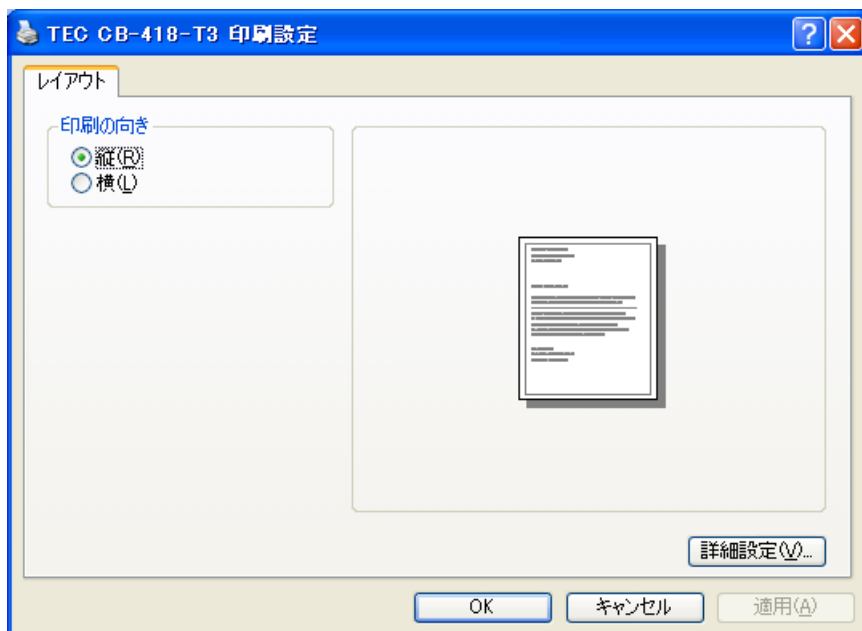


③[ヘルプ]

テック プリンタドライバのヘルプを表示します。

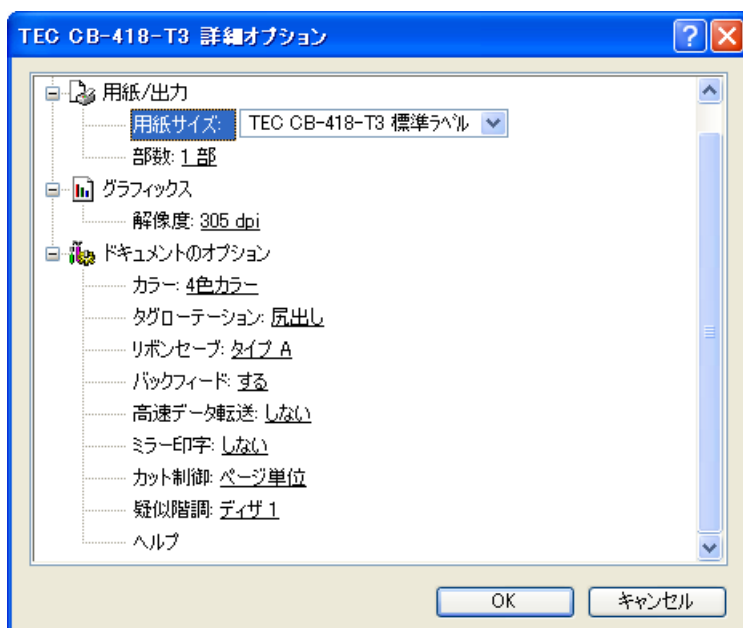
4.3 ドキュメントのプロパティ設定項目

ドキュメントのプロパティは各アプリケーションの印刷ダイアログやプリンタ設定のプロパティから設定します。尚、初期値を設定するには、プリンタフォルダから本プリンタのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから[印刷設定]を選択して行います。



①[印刷の向き]

ドキュメントを印刷する向きを指定します。(縦, 横(90度回転))



②[用紙サイズ]

使用する用紙を選択します。プリンタのプロパティにて登録した用紙種類から選択します。

③[部数]

印刷する部数を指定します。(1～9999)

④[カラー]

印刷に使用するインクリボンを設定します。グレースケール、4色カラー、3色カラーから選択します。

グレースケール： ブラックのリボンのみを使ってモノクロの印刷を行います。

4色カラー： ブラック、マゼンタ、シアン、イエローの4色のリボンを使って印刷を行います。バーコードや黒い文字を印刷する場合は“4色カラー”を指定した方が黒が鮮明に印刷されます。

3色カラー： マゼンタ、シアン、イエローの3色のリボンを使って印刷を行います。“3色カラー”を印刷するときは、マゼンタ、シアン、イエローの3色を重ね合わせて印刷します。

⑤[タグローテーション]

印刷するイメージを上端または、下端のどちらからプリンタに出力するか指定します。

⑥[リボンセーブ]

リボンセーブの設定をします。

タイプ A： ラベルに32mm(プレミアムリボンの場合 40mm)以上の無印字エリアがある場合、自動的にリボンを節約して印刷を行います。

タイプ B： 印字エリアの手前までリボンを節約して印刷を行います。

しない： ラベルの印字内容に関らず、印刷中は常にリボンを駆動します。

※ FINE MODEでご使用いただく場合、リボンセーブを“しない”に設定することをお奨めします。
グラフィックスがより一層きれいに印刷できます。

⑦[バックフィード]

用紙の節約の為に、印刷前に用紙をバックフィードします。

⑧[高速データ転送]

PCとCB-418-T3間のデータ転送を高速化します(PCの平行ポートとCB-418をセントロニクスケーブルで接続時)。する(モードA、モードB)、しない を選択できます。

モードA： ラベル印刷内容に関わらず有効なモードです。

モードB： 前のページと今のページの全面比較を行い、変更部分のみ抽出します。同じフォーマットのラベルに、一部可変データを有する複数ページの印刷で有効なモードです。

■“高速データ転送”モードの使用について

「高速データ転送」を「モードA」、「モードB」に設定するとデータを高圧縮で送信するため、高速な印刷が可能となります。

ただし、以下の条件が必要となります。

- ・ ご使用のPCのBIOS設定で平行ポートの設定を[ECP]モードに設定する。
- ・ プリンタドライバの「高速データ転送」を「する」または「モードA」、「モードB」に設定する。
- ・ 「モードA」は、CB-418-T3プリンタのファームウェアバージョンがV1.2以降であること。
- ・ 「モードB」は、CB-418-T3プリンタのファームウェアバージョンがV2.1以降であること。

注意

PCの種類により、[ECP]モードにならない又は[ECP]モードにしても転送スピードが変わらないものがある。

ります。

また、PCの平行ポート設定を[ECP]モードに変更した後の印刷で、何も印刷されない又はプリンタが動作しない場合は、PCの平行ポート設定を元の設定に戻してください。

高速データ転送モードを使用する際は、プリンタのファームウェアバージョンがV1.2以降であることを確認してください。

V1.2よりも古いバージョンの場合は、「高速データ転送」を「しない」に設定してください。「する」に設定して印刷を行った場合は、プリンタ側LCDに“コマンドエラー”が表示されます。

参考

BIOSの設定方法はPCにより異なりますのでPCのマニュアルを参照して設定を行ってください。

以下に一例を示します。(例:AWARD BIOSの場合)

- (1) PCの電源を投入し、[DEL]キーを押してセットアップ画面に入ります。
- (2) BIOSのメニュー画面が表示されますので、その中の[INTEGRATED PERIPHERALS]を選択し、[Enter]を押します。
- (3) [INTEGRATED PERIPHERALS]の設定画面が表示されますので、その中の[Parellel Port Mode]を選択し、[+][-][PU][PD]キーで[ECP]に設定します。
- (4) [ESC]キーでBIOSのメニュー画面に戻り[SAVE & EXIT SETUP]を選択し、[Enter]を押します。
- (5) PCが再起動されます。

⑨[ミラー印字]

ミラー印字を“する”に指定すると、印刷画像を垂直軸を中心にして水平方向に反転して印字します。

・CB-418-T3プリンタのファームウェアバージョンがV1.3以降であること。

⑩[カット制御]

カット発行の制御方法を指定します。

ページ単位: ページの区切りで必ずカットします。

ドキュメント単位: ドキュメントの区切りで必ずカットします。

印刷ジョブの最後でカット: 印刷ジョブの最後で必ずカットします。

⑪[疑似階調]

印刷対象の画像に対する疑似階調処理を指定します。ディザ1、ディザ2、ディザ3、誤差拡散を選択できます。

ディザ1: 文字、グラフィックス、写真などの各種画像に対応できるパターンです。

ディザ2: ディザ 1より密なパターンで、細かい文字、グラフィックスなどの画像に適しています。

ディザ3: 色むら無くするためのパターンで、グラフィックス、写真などの画像に適しています。

誤差拡散: はっきりした境界のない写真や絵を印刷する場合は、誤差拡散を選択します。

5. 使用上の注意

5.1 用紙について

①使用する用紙(用紙サイズ)の登録, 追加, 削除

- 用紙は、標準ラベルを含めて最大30種類まで登録できます。
- 印刷する時に使用する用紙(用紙サイズ)を登録するには、プリンタの[プロパティ]メニューにて行います。
[プリンタ]フォルダの[ファイル]メニューの[サーバーのプロパティ]にて用紙(用紙サイズ)を登録しても、本プリンタドライバで使用することはできません。
- 用紙の登録、更新、削除を行う場合は、できるだけ共有元のプリンタドライバ(サーバーPC)にて行ってください。
「プリンタの追加ウィザード」にてネットワークプリンタサーバーを選択してプリンタドライバをインストールしたPC(クライアント側)からは、なるべく用紙の登録、更新、削除はしないようにしてください。
接続先のクライアント側から、用紙の登録、更新、削除を行った場合、終了するまでに時間がかかる場合があります。
この場合は、必ず終了を待ってから、次の作業を行ってください。
- 用紙の登録、更新、削除を行う場合は、できるだけ他のアプリケーションを終了してください。

補足

本プリンタドライバでは、用紙毎に、プリンタの印刷に関する諸条件(センサー指定、各種微調値等)を記憶できるように独自の用紙作成機能を持っています。このため、一度用紙を登録してしまえば、アプリケーションソフトからは印刷時に用紙を選択するだけで、プリンタの印刷に関する諸条件を設定する必要がなくなります。

②使用する用紙(用紙サイズ)の指定について

[プリンタ]フォルダの[プロパティ]メニューでは、各アプリケーションソフトを起動した時の初期値として、用紙(用紙サイズ)を指定することはできません。

③使用する用紙(用紙サイズ)の用紙IDについて

使用する用紙の用紙IDは、登録された順番で上から257、258・・・となります。用紙IDはDEVMODE構造体のdmPaperSizeで用紙の指定や確認に使用するときの値です。



上記の場合、

TEC CB-418-T3 標準ラベル	: 257
Label	: 258
Card	: 259
Sheet	: 260

となります。

5.2 カット間隔について

カット間隔の指定は、指定部数を割り切れる数値に設定してください。
 カット間隔が用紙に設定された場合、指定されたカット制御でカット発行します。
 また、アプリケーションによっては、部数単位での印刷を指定できるものがあります。
 この場合のカット例を以下に示します。

①部単位で印刷しない場合

☐ カット制御： ページ単位

カット 間隔	ページ 数	部数	結 果 (数字：ページ番号、▲：カットする部数)
1	6	6	1▲1▲1▲1▲1▲1▲2▲2▲2▲2▲2▲2▲3▲3▲3▲3▲3▲3▲4▲4▲4▲4▲4▲4▲ 5▲5▲5▲5▲5▲5▲6▲6▲6▲6▲6▲6▲
2	6	6	11▲11▲11▲22▲22▲22▲33▲33▲33▲44▲44▲44▲55▲55▲55▲66▲66▲66▲
3	6	6	111▲111▲222▲222▲333▲333▲444▲444▲555▲555▲666▲666▲
* 4	6	6	1111▲11▲2222▲22▲3333▲33▲4444▲44▲5555▲55▲6666▲66▲
* 5	6	6	11111▲1▲22222▲2▲33333▲3▲44444▲4▲55555▲5▲66666▲6▲
6	6	6	111111▲222222▲333333▲444444▲555555▲666666▲
* 7	6	6	111111▲222222▲333333▲444444▲555555▲666666▲

*： カット間隔が、部数を割り切れない数値である場合、各ページの終わり(指定部数単位)でカットされます。また、カット間隔が指定部数を超えた場合、同様に各ページの終わり(指定部数単位)でカットされます。

☐ カット制御： ドキュメント単位

カット 間隔	ページ 数	部数	結 果 (数字：ページ番号、▲：カットする部数)
1	6	6	1▲1▲1▲1▲1▲1▲2▲2▲2▲2▲2▲2▲3▲3▲3▲3▲3▲3▲4▲4▲4▲4▲4▲4▲ 5▲5▲5▲5▲5▲5▲6▲6▲6▲6▲6▲6▲
2	6	6	11▲11▲11▲22▲22▲22▲33▲33▲33▲44▲44▲44▲55▲55▲55▲66▲66▲66▲
3	6	6	111▲111▲222▲222▲333▲333▲444▲444▲555▲555▲666▲666▲
4	6	6	1111▲1122▲2222▲3333▲3344▲4444▲5555▲5566▲6666▲
* 5	6	6	11111▲12222▲22333▲33344▲44445▲55555▲66666▲6▲
6	6	6	111111▲222222▲333333▲444444▲555555▲666666▲
* 7	6	6	1111112▲2222233▲3333444▲4445555▲5566666▲6▲

*： カット間隔が、ページ数×部数を割り切れない数値である場合、最終ページはカットされます。

②部単位で印刷した場合

カット 間隔	ページ 数	部数	結 果 (数字：ページ番号、▲：カットする部数)
1	6	6	1▲2▲3▲4▲5▲6▲1▲2▲3▲4▲5▲6▲1▲2▲3▲4▲5▲6▲1▲2▲3▲4▲5▲6▲ 1▲2▲3▲4▲5▲6▲1▲2▲3▲4▲5▲6▲
2	6	6	12▲34▲56▲12▲34▲56▲12▲34▲56▲12▲34▲56▲12▲34▲56▲12▲34▲56▲
3	6	6	123▲456▲123▲456▲123▲456▲123▲456▲123▲456▲123▲456▲
4	6	6	1234▲5612▲3456▲1234▲5612▲3456▲1234▲5612▲3456▲
* 5	6	6	12345▲61234▲56123▲45612▲34561▲23456▲12345▲6▲
6	6	6	123456▲123456▲123456▲123456▲123456▲123456▲
* 7	6	6	1234561▲2345612▲3456123▲4561234▲5612345▲6▲

*： カット間隔が、ページ数×部数を割り切れない数値である場合、最終ページはカットされます。

WindowsXP/Vista/7/Server2003/Server2008 対応

CB-418-T3

プリンタドライバ概略説明書

2010 年 6 月 第 12 版 発行

CT3WNT0B

発行

東芝テック株式会社

〒141-8664

東京都品川区東五反田 2 丁目 17 番 2 号
オーバルコート大崎マークイースト

©TOSHIBA TEC CORPORATION,1999 – 2010

無断複写及び転載を禁ず